内外新報

第二十五號

定價

西垣文庫
特
文庫10
7352
9

特 文庫10
7352
9

帝國圖書館藏

内外新報第廿五號

慶應四年閏四月廿七日

○慈牽世子江戸平穏物より留守居を以て出し書面写

外国某殿様の世子若殿様輒事に捧げ仕り
已来当藩侍数百年来在文武学名教侍遵奉社
遊脱に民利民煙懶く能ども侍再興　王幕共に王道を
社為に徳川侍家に恩ども数百年く今日に恩を報
野朱絡頼実に　皇国く侍藩に　為成天下奉く奉り
如斗と朱絡に奉く世尊　王政侍復古天下侍一新く扶桑

西園文庫

世子ハ刑法事勢ヲ主職侍選任ノ為ニハ藩ハ藩ニ天下ヲ
大奉敷膝蘇踏ヲ動ハ不協ヲ者ハ敢テ赦ス侍門下ヲ
弾劾仕ハ我モ毛侍ニハ海内ノ弟孔ヲ抱シ教ヲ表ヲ仕ハ
行幸相妄ヲ羅侍慢然ノ為ニ不仁ノ行業恩恵衰微ヲ情実侍
愛顧ノ下垂ハ之ヲ不世ヲ侍大恩難有仕合ヲ存ヲ之ハ相
又今敬德門　大君不測ヲ大罪ノ為ニ蒙棄嚴山ヲ幽閉塾
居側常恢復ヲ　天誅ヲ為ハ藩ハ紙ヲ以ヲ歸天痛
哭ヲ動ハ嘆ヲ者ハ前ヲ不完妄言仕ハ祢　大君侍事元
来侍徳後ヲ侍徳復ハ為ハ侍家侍相續ヲ為モ侍
[illegible]ヲ侍後見ヲ芸より思ハ[illegible]

侍相續相成ハ大君ヲ一侍及ハ奉ヲ侍ハ相
續ヲ後將軍職ヲ之侍固辞相成ハ共　王命不沒心竟
ハ侍受職相成ハ陽為ヲ心中挾ム不首ヲ之ヲ為ハ將
軍ヲ推職推ヲ求ヲ之ヲ更ヲ宗室ヲ侍後ヲ之ハ侍及ハ奉ヲ
才二ヲ者ヲ存ヲ宗室後侍不德ヲ行ハ及ハ奉ヲ
軍職侍辞退改推侍返上ヲ陽ハ為ハ自責恐ハ將
之ハ我ヲ百藩侯侍指揮ヲ不相外　神君侍剣業ヲ以指
將ハ為ハ侍雖ヲ相成ハ事ヲ愚夫愚婦ヲ中ハ知
ヲ仕ヲ為ヲ我ヲ百年ヲ侍後業一新ハ為ハ捨天下ヲ儀
ハ仕ヲ何ヲ為ヲ　王政復古ヲ侍純律相立　皇國ヲ侍

商売又大海に乗り輝度浦奈人々備代諸産を陳めるも
浦を採用をく決意浦美勢有るに い全く公明正大　天朝
浦を崇浦恭敬く勝ずとうく浦多に有るを為く頗る雄藩
豪産くに比べ　主攘夷を唱へに類とか天壇く懸隔に
て有るく苟も反心有るく為く於るい偽り国に離生職を失ひ
如世下業仕う無れ共主浦反心を表し恭順を示ニに浦
産く程東西浦猜疑く事間より俄に二乗浦城に浦退去
く長如何ぞも　主命浦通達積く備居く動揺を浦結按
江戸表主も乗く浦沙汰有く竟に城に浦雲退く陸奥
主浦反心を表し恭順を示に浦尾張者てく浦内

徐に対後情浦と治て有るく浦供先く行遠く我年に及
い若を勿体も彼旗を向ひいより　天威恐民深く浦恐
怪ひく之軍を浦見捨さぞかしに金城湯池を若を元勝
も不に敗獨力浦東国に相成ぬ陸右く成に武門く恥辱
を載くと云ふ歳く十又二有るく儀とも不存在く世時に為
主家く一も浦反心有るに於るい表言を結為ぞ結ふを
思く者　主浦恭敬く浦運びより右く浦路来に至ぬ陸
是又浦反心を表し恭順を示に浦産く和浦東帰く浦
流石備代恩顧く備産旗本おかるぞ浦来参く終身命
を抛ち日夜涙年段ぬるも称和攘く浦氣色も無く世

之徐旗東下するに当り一敵對に為に者有りて旅を
予が首級を乞ひしとの上表ありて殆んど酒を携へ
辭恭慇懃に答へ　王遣と称して
及ん有りて旅くに備軍を引率し浦上浩　閣下に於て
是非曲直を陳正有りいとも未だ定まらず竟に生
徐も無き限是又浩及ん意を表し如隆に生
浩孫浩恭順なる生伏罪し浩陳情浩生に親に
浩赤ん貴徹不仕に就て阿浩親伝し大命下るより浩
一旦に和を乞ひ東叡山中に出閉浩蟄居天に行き地に
伏し是恐懼而非を出答浩一見し上に浩引文諸廣い中

に及ぶ旗下に士に玉を以て玉を以て石を拭い浩仏中如
何程に了ある生に我是浩及ん無く明瞭し者七に浩生
い有り通に正義に人を天地神明も御照覧浩及情に於
て い毫末も疑ある生乃愛に求欲し候策恭向し偽開に
空く齟齬仕に我も了有て甚に恥去世有　王政御優
古天下に更始浩彰彰し初め寧ろ不徳に浩矣猶浩生に
も如生に御大徳民に浩に浹洽仕に了信服し人民感泣
帰仁牧猶兄し慈母を慕ふ如く浩　王政に日月彰に相
立て了欣突に　皇國し浩為め　大君し浩御羅浩生微
く及い彩乃生同寄我紀令　大君如何程し浩羅跡浩生

いとも既に数代を将軍職に在て一旦古格復古を行ふ
は上を侍奉仕する者に対する大恩なり　大君の恩
く重いとも　東照神君　王室に対し力を尽し天下万民
の為め風雨に櫛沐し幸に苦難を凌ぎ二百年を今日
に至るまで天下を泰山の安に置き給ひし功勲上下挙
挙を感じ奉り居る事一国家の大典実則
侍奉顧る所の主国家に対し刑法は国家の大典実則
を者し不法横暴成に急く歎に堪へざるなり
縄墨成る陳腐く歎る曲直線引くもぐかしん伏て願く
は賢良明哲の世子徳川　大君　王政復古の明正大なる侍

徴を以為体とは衰職を補佐申は徳川侍家を推
挙下は万民を撫仁愛を以て天下奥賜を不望に至
為副はたく陪臣多年富に所下風を尊行業は素人も空
しかるに万民挙く侍恩沢を感戴仕和陪臣敬て伏願
く罪を犯し僅く言上仕は和陪臣恐惶恐罪死罪
を顧首頓首死罪死罪

月日

○世の中さつかーきにはるーきに成きーに侍り
て
めーとの世に成るーきに成かくるとや去るいとは

〳〵おぼえまゐらせ

○

菅原かゞゝる子上書高田侯歎願書追次刊行ゝゝ

よゝゝ人ゝゝゝゝ